

科目名	栄養学							年度	2025	
英語科目名	Dietetics							学期	前期	
学科・学年	スポーツ健康学科 テニスコース 1年次		必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	二葉栄養専門学校		教員の実務経験		有	実務経験の職種		栄養専門学校教員		
【科目の目的】										
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格取得に必要な共通科目となります。 スポーツと栄養、アスリートの栄養摂取と食生活、トレーニングプログラムと食生活、スポーツマンの栄養欠陥に基づく疾病と対策、遠征時の食事のあり方、種目特性と食事、スポーツと水分補給、スポーツと補助食品といったスポーツ指導者に必要な基礎的な栄養学の知識修得を学びます。										
【科目の概要】										
スポーツと栄養、アスリートの栄養摂取と食生活について学びます。										
【到達目標】										
スポーツ指導者に必要な基礎的な栄養学の知識、疾病を理解し予防していくための知識、競技に合わせたアスリートに必要な栄養補給、水分補給の方法、減量や増量期の栄養補給方法、栄養補助食品の扱い方の修得を目標とします。 A. 栄養学に関する基礎知識を有し、スポーツ活動に必要な栄養摂取方法について十分に理解している B. アスリートのパフォーマンスを最大化するための期別（通常期・鍛錬期・試合期・休養期）の食事についての知識を十分理解している C. トレーニングと食事の関係についての知識を十分理解している										
【授業の注意点】										
授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	栄養学に関する基礎知識を有し、スポーツ活動に必要な栄養摂取方法について十分に理解している		栄養学に関する基礎知識を有し、スポーツ活動に必要な栄養摂取方法についてある程度、理解している		栄養学に関する基礎知識を有し、スポーツ活動に必要な栄養摂取方法について理解していない□					
到達目標 B	アスリートのパフォーマンスを最大化するための期別（通常期・鍛錬期・試合期・休養期）の食事についての知識を十分理解している		アスリートのパフォーマンスを最大化するための期別（通常期・鍛錬期・試合期・休養期）の食事についての知識をある程度、理解している□		アスリートのパフォーマンスを最大化するための期別（通常期・鍛錬期・試合期・休養期）の食事についての知識を理解していない。					
到達目標 C	トレーニングと食事の関係についての知識を十分理解している		トレーニングと食事の関係についての知識をある程度、理解している		トレーニングと食事の関係についての知識を理解していない					
【教科書】										
J S P Oリファレンスブック										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		栄養学				年度	2025
英語表記		Dietetics				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	スポーツと栄養	栄養の基礎	1	五大栄養素	五大栄養素の知識、栄養バランス、食事摂取法および水分補給について理解する	3	
2	アスリートの栄養・食事	アスリートに必要な栄養の知識	1	通常期の食事	アスリートの通常期の栄養の知識	3	
3	アスリートの栄養・食事	アスリートに必要な栄養の知識	1	食事	アスリートの通常期・鍛錬期・試合期・休養期別に見たの栄養の知識を理解する	3	
4	アスリートの栄養・食事	アスリートに必要な栄養の知識	1	疾病と遠征の食事	疾病と食事	3	
			2		遠征と食事		
5	アスリートの栄養・食事	アスリートに必要な栄養の知識	1	競技別の食事	アスリートの競技別に見た食事と栄養について理解する	3	
6	トレーニングと食生活	トレーニングと栄養の関係	1	トレーニングと食事	トレーニングと食事の関係について理解する	3	
7	トレーニングと食生活	トレーニングと栄養の関係				3	
8	栄養補助食品	サプリメントの知識	1	サプリメントについて	サプリメントの知識について理解する	3	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等